

人材確保対応プロジェクト会議の活動経過と当面の進め方

令和元年 12月9日(月)	第2回会議 のポイント ○人材確保に向け、各ブロックで工夫を凝らしながら取り組んでいる状況であるが、政策動向等にも地域性があり、県全域で考えていくには共通課題の明確化が必要である。 ○福祉人材センター・人材バンクと協力し、県全域で福祉の仕事の魅力発信に向けた具体的で実効性のある取り組みが必要である。
令和2年 8月21日(金) 10月6日(火)	第3回会議 第4回会議 （リモート） <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ・各ブロックにおける取組状況について ・人材確保対策対応プロジェクト会議の目標設定について ・今後の検討課題について </div>
令和3年 1月中 7月14日(水)	○プロジェクト会議委員による各施設のヒアリング・アンケート調査 第5回会議 ・各施設のヒアリング・アンケート調査結果について ・今後の取り組みについて

県全域で一体となった福祉の仕事の魅力発信に向けた具体的な取り組み
 目的・対象者の明確化⇒対象者を知る（情報共有）⇒目的達成に向けた効果的手法の検討

<目的・対象>

無資格・未経験者にスポットを当てて県全域の会員組織（協議会）ならではの魅力発信に取り組む。すそ野を広げる取組が各法人や関係機関・団体等で進められているが、無資格・未経験者の採用状況や課題について整理されたバックデータは少なく、福祉の仕事に関心を持ってもらうには何が必要か情報を集約・共有し、より効果的な取組方法を検討していく必要がある。プロジェクト会議の施設における現状や課題を整理しながら、人材センター等関係機関・団体との連携を図り、県内での必要な人材確保につなげる。

<取組内容>

- 1 プロジェクト会議の施設で採用された無資格・未経験者へのヒアリング・アンケート調査の実施（①就労形態、②福祉の仕事を選択した理由、③就職先の決め手（5W1H+情報）、④現場に求められるアピール方法、⑤採用後に実感した魅力）を通じて、相互の情報を共有する。
- 2 福祉に少しでも関心を寄せている方々が、希望・期待していることは何か、福祉の仕事に魅力を感じてもらえる方法は何かを考え、より効果的な取組方法を検討する（1を通じて得られた結果に基づく魅力発信方法の検討）。
 - （1）委員の勉強会または協議会会員研修会⇒調査結果を共有し、各施設での取り組みを考える。
 - （2）会員組織としての情報発信⇒無資格・未経験者に向けた媒体や手法を検討し実践する。
（パンフ、新聞広告、ミニコミ誌、ホームページ、SNS、かながわ高齢大会等）
 - （3）人材センター・人材バンクとの連携⇒職場体験、現場を知るセミナー等の実施
 - （4）福祉系以外の学校訪問活動⇒学生関心度のヒアリング、学内就職セミナーへの参加等

神奈川県社会福祉協議会・老人福祉施設協議会・人材確保対応プロジェクト会議 無資格・未経験者の採用に関するアンケート調査結果 【概要版】

今回のアンケート調査結果の中から、特徴・傾向等について枠の中へ記載し、プロジェクト会議で話題とした内容に下線を引いています。【職員回答】9施設・回収数44名・有効回答数39名

QⅠ 回答者

2 年代 10代 ・ 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代以上

3 入職年数（現職場での入職後、通算年数） _____ 年 / _____ 力月

4 入職前（直近）の経歴・前職（あてはまるもの一つに○をつけてください。）

福祉系以外の大学 福祉系以外の専門学校 福祉系以外の高校

一般企業 自営業 専業主婦 公務員 団体職員 教育関係

福祉系以外の専門職（具体的に： _____ 取得している資格： _____ ）

高齢分野以外の福祉職（具体的に： _____ ） その他（ _____ ）

5 入職前の福祉に関する資格等取得状況（あてはまるもの全てに○をつけてください。）

資格等あり：社会福祉士 介護福祉士 介護職員初任者研修 介護福祉士実務者研修 その他（ _____ ）

資格等なし

6 入職後の福祉に関する資格等取得状況（あてはまるもの全てに○をつけてください。）

資格等あり： 社会福祉士 介護福祉士 介護職員初任者研修 介護福祉士実務者研修その他（ _____ ）

資格等なし

< AⅠの特徴・傾向 >

2 「20代」38.5%、「40代」23.1%、「30代」20.5%

3 「3年未満」76.1%、「3年以上5年未満」21.4%

4 入職前経歴「福祉系以外の大学」28.2%、「一般企業」25.6%、「専業主婦」15.4%

5・6 入職前後の福祉に関する資格等ありの割合は、「入職前」32.5%、「入職後」61.5%

QⅡ 現在の雇用形態・勤務形態

2 雇用形態 正規 非正規

3 勤務日数 週 _____ 日

< AⅡの特徴・傾向 >

2 雇用形態 「正規」53.8%

3 勤務日数 「週5日」56.4%、「週3日」15.4%

QⅢ 就職活動について

1 利用した就職活動経路について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

ハローワーク 福祉人材センター・バンク 施設入り口等の掲示板 法人ホームページ

SNS 学校（就職課）からの紹介 学校（説明会）からの紹介 合同就職説明会

求人情報誌 新卒者採用サイト 転職サイト 人材紹介会社 職員からの紹介

友人・知人からの紹介 地域の商業施設等の掲示板（具体的に： _____ ）

施設独自の取り組み（ 職場見学会 / 法人説明会 / その他： _____ ） その他（ _____ ）

2 現在の職場の求人を知ったきっかけについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。

ハローワーク 福祉人材センター・バンク 施設入り口等の掲示板 法人ホームページ
SNS 学校（就職課）からの紹介 学校（説明会）からの紹介 合同就職説明会
求人情報誌 新卒者採用サイト 転職サイト 人材紹介会社 職員からの紹介
友人・知人からの紹介 地域の商業施設等の掲示板（具体的に： ）
施設独自の取り組み（職場見学会 / 法人説明会 / 採用に関するパンフレット等 / 法人紹介に関するパンフレット
等 / その他： ） その他（ ）

3 就職先（現在の職場）の決め手・きっかけについて、あてはまるもの全てに○をつけてください。

通勤が便利だから	労働日、労働時間が希望とあっているから
プライベートな時間を考慮して働けるから	賃金等の水準が適当だから
法人の方針や理念に共感したから	経営が健全で将来的に安定しているから
福利厚生が充実しているから	子育て支援が充実しているから
介護との両立支援が充実しているから	教育研修・資格取得補助制度が充実している
やりたい職種・仕事内容だから	働きがいのある仕事だと思ったから
人や社会の役に立ちたいから	事前に職場の様子を知ることができたから
住居の提供があるから	知人・友人が働いていて安心できたから
その他（ ）	理由は特にない

＜AⅢの特徴・傾向＞

- 1 就職活動経路「学校（就職課・説明会）」38.4%、「ハローワーク」28.2%、「新卒・転職サイト」28.2%
2 現在の職場を知ったきっかけ「ハローワーク」17.9%「学校（就職課・説明会）」17.9%、「新卒・転職サイト」15.4%と就職した活動経路と同様の経路・媒体での回答が多い。
3 職場の決め手、きっかけ「働きがいのある仕事」46.2%、「事前に職場の様子を知ることが出来る」41%
「やりたい職種・仕事内容」「人や社会の役に立ちたい」も共に38.5%の回答であり、介護の仕事に魅力を感じている。一方で「通勤が便利」43.6%であり、職住近接での働き方を求めている人が多い。

4 就職活動中にもっと知りたかった情報はどんなことですか。（自由記述）

（1）職場（法人・施設）に関すること＜自由記述＞

- ☐ 就職前に見学の機会を頂いたのですが、体調不良で参加出来なかった為、体験・見学が出来ていたら職場の雰囲気が分かって話を聞くだけより安心できたかもしれない
- ☐ 働いている所の見学をもっとしたかった
- ☐ 実習の機会が欲しかった
- ☐ 実際にその職場で働いている先輩方に話を聞けなかった為、話せる機会があったら良かったなと少し思ってしまう
- ☐ 実際に入所している方の思いや施設での楽しい事等日常の楽しみな事等を聞けるような動画を見たかったなと思います
- ☐ 職員さんはみんな経験者なのか？未経験で就職した人がいるのか？/職員さんの平均勤続年数、働きやすい環境か？休みは取り易いか？（地方出身なので春・夏の長期休み、自分自身高齢の両親がいる）/職員さん自身どのような理由でこの施設で働いてるのか？
- ☐ ボランティアの活動についてもっと知りたかった
- ☐ ユニット内の雰囲気/ユニットケアについて
- ☐ 仕事内容や行事、レクリエーションなどをもっと質問したら良かったと思う

- 実際の業務内容（介助以外の雑務等）/人間関係
- 職場の環境
- 職場での大まかな仕事
- 就職する事で頭が一杯だったのですが、介護福祉業界の年度毎の評価が就職先の施設はどうなのだろうと思いました
- 就業形態
- 勤務体系(休日、職場シフト)
- 給与形態
- 賃金形態、例を上げて総額・支給額
- 職員（友人）からの紹介であった為、特に不安はありませんでした
- 面接時、施設内を見学させて頂き充分だった
- 面接官の説明やパンフレット等で十分でした

（２）介護（高齢分野）の仕事に関すること

- 私の場合、何の知識もなく働き始めてしまいましたが、やはり、知識は有ればある分だけ仕事にも活かれますし有利であると思います
- どんな人達が生活しているのか/介護未経験者でも分かるように説明があると良かったです
- 施設で高齢の方と接した事が無く思いつかないが、この仕事をずっと続けていく事が出来るのか不安だった
- 介護の仕事はまだわからない事が多いですが、最初は精神的にどのくらいきついのかと思いました
- 勉強していた事と現場のギャップ
- 実際の介助風景/仕事（介護）の良いところ、悪いところ、何が辛いのか
- 実際の仕事の内容、様子 他1
- 体を上手く使う事について学びたかった
- ボディメカニクス
- 認知度/身体的別の介助方法
- 認知症について 他1
- オムツやトランスなどに関する資料をはじめに欲しかったなと思いました
- 1年以上経って外部のオムツ講習に出た時にもらった資料がとてもわかりやすく良かったので、もっと早く欲しかったなと思いました
- 年齢がいっていても出来る仕事かどうか
- 体験実習
- 先輩の経験談などを聞く機会
- 面接官の説明やパンフレット等で十分でした

＜AⅢの特徴・傾向＞

4 就職活動中に知りたかった情報

「見学・体験、先輩職員体験談、全体的業務内容、現場支援動画、基礎知識、未経験者説明」
「就業形態・給与体系、将来設計、職場環境」

QⅣ 介護の仕事について

1 介護の仕事に関心を持ったきっかけ

周囲に介護の仕事をしている人がいた 周囲の人に介護の仕事を勧められた
ボランティア・交流会への参加経験があった その他（ ）

< AIVの特徴・傾向 >

1 介護の仕事に関心を持ったきっかけ「周囲に介護の仕事をしている人がいた」38.5%、「家庭での介護経験・身内が利用者」と身近に「介護」を感じていることが伺える。

2 現在の職場に就職する前に不安を感じていましたか。(自由記述)

- 身体的な介護の経験、技術、知識がない 他 7
- 介護技術が無い事/勤務形態等 他 1
- 介護技術がないこと/体力的な事
- 無資格、未経験でしたので未知の世界でした。自分に本当に出来るかが一番の不安でした 他 1
- 介護をするという事が未経験だった為、持続できるかが不安だった
- 経験がなかったので、精神的な部分で続くか不安でした
- 全くの未経験だった為、職員の方についていけるのか、迷惑に感じられてしまうのではないかとこの気持ちが強かったです 他 1
- 介護に関しての知識がなく、ご利用者にとって不適切な対応をしてしまうかもしれないという不安があった
- 資格を持っていない事やコミュニケーションが得意でない事。認知症の方への対応が出来るか
- 利用者様に怪我をさせてしまう事に不安でした
- 介護経験、接することがなかった/死に対する恐怖
- 夜勤が上手く出来るか/体を壊さないか
- 人と話す事は好きだけど、正しい対応ができるか不安だった
- 未知の世界で全てが不安だった/体力的な面
- 介護経験もないので、どこまで出来る様になるか分からない事等すぐに聞ける環境かどうか
- 通勤の距離が長い事/初めての夜勤だったので体力的に心配だった
- 介護が初めてだったので、学校(専門)で得た知識がどれほど現場で通用するか
- 自分が入社時より資格を取得していた為「何でもできる」と思われていなかったか不安だった。また、生徒同士で体験や現場での実習なども含め実際に介護技術の演習も行ったが、学校で習った事が反映できるかとても不安だった
- 介護に限らず年齢的に新しい仕事を身につけられるかという気持ちはあります
- 人間関係 他 1

< AIVの特徴・傾向 >

2 就職する前に不安を感じていた 82.1%。具体的には「知識、技術、経験のなさ」「職員、利用者」に迷惑をかけないか」「心身ともに継続可能か」「年齢」。

3 介護の仕事を選択した理由(自由記述)

- 一般の企業は景気に左右される為、安定した職場を求めています。地域上、介護施設が多いのも理由の一つです
- 将来的に必要な職種であり長く続けられる
- 将来的に安定した職業だから
- 社会に必要な仕事だと感じていた
- デスクワークが苦手だったのと今後減る事はないから
- 親の介護を見据えて技術、知識が必要だと思った為 他 2
- 家族の介護を通じて介護の大切さを感じました/介護の知識を身に付けたいと思ったからです
- 初任者研修で勉強した勢いで気軽な気持ちで仕事として始めてみようと思ったから。嫌だったら辞めれば良いと思っていました。将来的に親の介護に不安があった。

- ☐ 技術と資格同時に身に付けられるから/自分の両親が介護を必要とした際に対応できるから
- ☐ 少しでも人の為に役に立ちたかった 他 1
- ☐ お年寄りが好きだということ、人の役に立ちたいと思ったからです
- ☐ 人前で話をしたりは苦手だったが、人の役に立てる仕事をしたかった
- ☐ 人とコミュニケーションを取りながら人の役に立ちたかった
- ☐ 人の役に立ちたい/実習を通して介護の仕事にやりがいを感じた
- ☐ 自分でも役に立つかと思ったので
- ☐ いつまでもその人らしくいられるようサポートしたいと感じた
- ☐ 人の役に立ちたいと思ったから/自分に向いていると感じた
- ☐ 前から誰かの力になる仕事をやってみたくて介護の仕事を選択した
- ☐ 自分が好きな事、学んだこと（音楽療法）を活かしながら誰かの役に立てる仕事だったから
- ☐ 介護の仕事、人と接する仕事が好きだから
- ☐ 祖母が老人ホームに居た時に面会で老人ホームに行く内に仕事の内容に興味を持ち選択した
- ☐ 勤務時間、休日をはっきりしていて、家庭との両立が出来ると思った為
- ☐ 子供の保育園が決まり、働かなければいけなくなったから/子育てと仕事を両立できるから/おじいちゃんやおばあちゃんが好きだから
- ☐ 当時保育士の資格を取る為に重傷心身障害施設で実習を行っている際に合ったある 1 人の利用者様の姿を思い出したからなのと、介護福祉士の資格を取る為、介護老人保健施設に実習に行った際、「是非ここで働いてほしい」と言ってもらい、自分は高齢者施設に向いているのかなと思った為
- ☐ 具体的ではありませんが、これからの自分にとって必要な仕事となると思いました
- ☐ 身近に介護経験のある人がいたり自分も実際にボランティアや実習で施設へ行った事が有る為
- ☐ 親が介護をしていたから
- ☐ 自分に向いた仕事だと考えていたから
- ☐ 以前やってみたいと思っていた為
- ☐ 現在の職場で資格を取った際の雰囲気や理念
- ☐ 勧められたから
- ☐ 福祉系大学を卒業したこともあり、転職するなら最後の機会だと思った為

< AIV の特徴・傾向 >

3 選択した理由 「人や社会の役に立ちたい」「資格・技術の習得」「親の介護等将来に役立つ」「家庭との両立」「社会的に必要な仕事（＝安定性）」「自分に合う仕事」「施設が多い地域性」との回答が多い

4 現在の職場で仕事を続けられていると考える理由について、あてはまるもの全てに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 通勤が便利だから | 労働日、労働時間が希望とあっているから |
| プライベートな時間を考慮して働けるから | 賃金等の水準が適当だから |
| 法人の方針や理念に沿った仕事ができるから | 経営が健全で将来的に安定しているから |
| 福利厚生が充実しているから | 子育て支援が充実しているから |
| 介護との両立支援が充実しているから | 教育研修・資格取得補助制度が充実している |
| やりたい職種・仕事内容だから | 働きがいのある仕事だから |
| 人や社会の役に立てていると思うから | 相談しやすい環境があるから |

その他（ ） 理由は特にない

< AIVの特徴・傾向 >

4 継続できている理由「働きがいのある仕事」48.7%、「通勤が便利」43.6%、「仕事内容、人や社会の役に立ちたい」「相談しやすい環境」共に38.5%の他、「職員との人間関係が良好」との回答が多く、人間関係が働きやすさに繋がっている傾向にある。

5 入職後に実感した介護の仕事の魅力（自由記述）

- 一人一人入居者様に合わせた介助をするところはすばらしいと思います。食事が美味しい、お風呂が気持ち良かった、よく眠れた等々、本当は当たり前の事でも施設ではこの言葉が聞けるという事は安楽に過ごせているバロメーターで、聞けると嬉しいです。
- 入居者様の笑顔
- コミュニケーションを通して笑顔が見られる
- 明るく「おはようございます」「こんにちは」という一言で始まる1日に魅力を感じる。入居者様と穏やかな1日を楽しく過せる事
- 入居者様の笑顔を見させてもらえたこと
- 毎日違う事が起きたりして楽しい。利用者笑顔が見られるのが嬉しいです
- 日々の関わりを通して利用者さんと笑顔で話せること
- 意思の疎通が出来た時
- 入居者の方とのコミュニケーション
- 元気に話しかけてくれる利用者やスタッフとの会話がとても楽しい
- 楽しく会話したり、「有難う」や「好きよ」など言ってもらえる
- 自分の名前を覚えてもらえた時は嬉しかった/自分が想像していたよりも礼儀正しい方が多い(夜中にパット交換をした際に「ごめんね、大変な思いをさせて」と言ってもらうなど)
- 配属グループが決まった当初より入居者さんに話し掛けていただけたりあまり関わりがない方からも名前を呼ばれたり嬉しく感じました
- 大変な仕事ね。いつも助かっています。有難うと言ってもらえる
- 有難うと言ってもらえる事が何より良かったなと思います
- 「有難う」と感謝される
- 有難うという言葉にパワーもらいますを/やりがいを感じます
- 「今日もよろしくね」「ありがとう」と言ってもらえると嬉しい
- 入居されている方が有難うと言って下さることの嬉しさ
- オムツの交換時など終わった後にご利用者から感謝の言葉を言ってもらえる
- 入居者様からの信頼を得られていると感じる時
- 利用者様の人生に関わる事が出来る
- 日々の関わりから利用者様の生き方を知れる事
- 利用者様の人生に関わる事が出来る様とコミュニケーションを取ったり、感謝の言葉を受ける事で仕事へのやりがいを感じます
- 利用者さんに関わって笑顔が見られた時/利用者のニーズを見つけ、プランを立て実施して上手く出来た時
- デイサービスに通うのが楽しみと言ってもらえる/関わることで笑顔が増え、元気になってくれる
- 「ここに来て良かった」と利用者やご家族から言ってもらえる

- 関わりを通して利用者が「今日は1日お疲れ様また明日」と言われた時が自分の中では心に残ります
- 利用者様に合わせて介護する中で、1人1人をよく理解しながら考える事
- 日々入居者の状態が変わるから仕事のつまらなさが無い
- 利用者さんや他の職員さんやパートさんが優しく働きやすい
- 未経験で入ってからでも資格が取れる
- 手に職がもてる
- 今までの仕事で一番大変、だからこそすごくやりがいのある仕事で、自分に合っている。毎日楽しいと感じられます。
仕事をしつつ日々知識としてスキルアップができているのが分かり、自分自身成長できる/将来自分の家族など役立つ
- 人対人との仕事な為難しさはあるが、共に生活している中で自分自身の成長を感じる事が出来る場所
- 求められている事を感じやすい
- まだ分かりません

< AIVの特徴・傾向 >

5 実感した魅力「利用者からの感謝の言葉、笑顔あるコミュニケーション・会話・意思疎通」「利用者の人生に関わること、個々を考えながら働くこと」「自分自身の成長、スキルアップ、資格習得」

6 入職後に実感した介護の仕事の大変さ（自由記述）

- 帰宅願望であったり、食事、水分がすすまない方への対応、体調不良の方への対応が難しく感じます。特に、水分を嫌がるのに勧めなければいけなかったりするのは辛いです。帰宅願望もハッキリ帰れない事を伝えるべきなのか、現実をそこまで利用者様に伝えなければいけないのか悩みどころです。
- ワーカーの都合では仕事を済ませてしまうのではなく、利用者様の都合に、コンディションに合わせる事が大事だと思うこの頃です
- 一つの判断が人の命に関わってくる事
- 業務が多く、時間内に終わらせる事を丁寧に利用者の対応をしていくことを両立させなければならない事
- 臨機応変な対応 他3
- 何かあった時どうすればいいか等の対応、勉強して少しずつ知識を付けていきたい
- 看取り時の対応/急変者の対応/認知症の方の対応
- 的確な判断と対応を求められる事/その反面、認知症の周辺症状（BPSP）には随分振り回されている/何をしたいのか、どうしたらいいのか（話す事は出来るが）言葉にすることが難しい為、本人がいる環境も含めて何をどうしてあげたらいいのか悩んでしまう
- 介護技術だけでなく、病気の名前等も覚えなければならない
- 利用者への声かけと言葉づかい
- 業務（時間）に追われ、利用者さんに対して十分な対応が出来ない 他1 /利用者さんからの暴言・暴力がある
- 利用者さん一人一人に合ったケアがあり、覚えられなかったり1日のルーティンにあった動きを職員も利用者さんもしなければならないので、すごく大変だと思います
- 利用者個人1人1人に合わせての介護が大変だと思った / 利用者さんの毎日、日々変化する体調と性格に合わせる事 他1
- 個々の体力、体調、能力の違いだけではなく性格に合わせた声かけを必要とする事/職員同士の助け合いが大事なところ /常に安全を意識が抜けにくいところ/責任が重い
- 認知症の方や拒否が不穏状態の方への声掛け、難しさを感じます
- 技術だけでなく生活全般に対する知識も必要
- 緊急時の判断/体力面でしんどい/コロナの感染予防

- 介護度が高いご利用者の身体介護/認知症の方への対応の難しさを感じました
- 身体（主に腰）他2 /精神的疲労
- 身体が丈夫である事。色々な利用者がいるので精神的に参る事があるが、それを切り抜ける（乗り切る）逞しさ、バランス感覚が必要と感じる
- 身体の使い方/技術的な問題
- 思っていたより体力を使う
- 介護知識だけでなく医療知識も共に学ばなければいけない。医療の知識がないと利用者様の小さな変化に気づきにくいと感じています(絶対ではないですが)。でも仕事をしながら現場で学べることも沢山ありますよ
- 1つ1つのケアが利用者の命に繋がるということ/夜勤の大変さ、生活のリズムが崩れる点
- 力のいる仕事なので、入居者さんが不安になってしまう時がある
- 日々体調や気分なども違う中で、お互いに気持ち良く接していくこと
- 人出が足りていないが、国の方針で人数が決まってしまう点
- 人間関係
- まだ分かりません

< AIVの特徴・傾向 >

6 実感した大変さ「体調不良時の対応、コンディションに合わせた介護、生命に関わる判断、臨機応変な対応」「業務時間内での対応、利用者からの暴言、職員同士の助け合い、人間関係、心身の疲労」

7 介護現場で働く上で望むこと（自由記述）

- 人間関係が良好である事
- 自分の仕事量に対する賃金の支払い（賃金の値上げや自分に対する対等な評価）や人間関係。人間関係が良くないと、いくら賃金が良くてもそこでは働きたいとは思わない
- 悩み事や心配事等気軽に相談できる環境であること/ 相談しやすい環境 他1/上司、先輩と気軽に相談できる場である事 他2
- 仕事に慣れるまできちんと教えてくれる人がいること(急に1人にされるととても不安なので、暫く就いてきちんと教えてほしい)
- 自分が分からない事は、出来ない事をすぐに自分から声をかけて、メモを取り聞き取る事
- 助け合ってやっていけると良いと思う
- 会社の指示で仕事をする時に、きちんと何故それをするのか説明がある事
- 入居者さん一人一人とコミュニケーションの時間が個人的に取れる場があると、よりその方の事を良く知られるのではないかと思います
- 仕事内容に余裕があること（時間的に）
- 充実した人手
- 研修の時間がもう少し欲しかった（実技的な部分で）
- 色々な資格取得研修があると良いです 他1
- 有休を使わずに資格取得の機会を作って欲しかった
- 初任者研修だけでも8万円程かかりました。更に実務者研修、介護福祉士取得までに14万程かかるので、そこを支援してもらえると負担なく資格取得へ前向きに考えられると思う
- 月の休みが10日ある事。仮眠室又は職員用のベッドがあると嬉しいです
- 給与のアップ 他1

- ボディメカニクスを活用していてもやはり腰や肩に負担がかかり、接骨院に通うことがある。また職業病というラテックスアレルギーになり皮膚科に通うなどもある)。皮膚科に関しては入職2年目でなりました
- 研修制度がある事/資格取得支援制度があること/体力的な面でのフォロー/人材確保
- 現状の人間関係や環境に満足しています。少しでも力になれるよう自身のスキルをあげていきたいです
- 介護職の社会的地位がもっと上がるといい/コミュニケーション能力向上の勉強会などがあれば勉強したい

＜AIVの特徴・傾向＞

7 介護現場で働く上で望むこと「良好な人間関係」「相談できる環境」「慣れるまでのサポート」
「資格取得支援」「仕事量に見合う報酬」「人員体制の充実、心身のゆとり」

8 介護現場に求められる無資格・未経験者へ向けたアピール方法について、どんなことでも構いませんので、自由に意見をお聞かせください。(自由記述)

- あなたにも出来ますよ…と伝えられれば自信がつくと思います。適正はありますが
- 自分はケアマネの資格を取るのが目標なのですが、例えば、ケアマネを取ればどういう事が出来るのか分かり易く例を作って頂けると良いと思う
- まったくの未経験でも介護職を希望する人達が思いきって挑戦できるように。希望しない人には難しいと思います。
- 老人ホーム感満載のHPやパンフレットではなく、一つの一般企業としてのアピールが出来れば良いと思う
- 未経験でも段々出来る様になっていくということを知る事で安心して介護の業界に進む事を考えられる。仕事の大変な点とどう乗り越えているかの体験話など。
- 働く中で知る事ができる。介護でしか体験できない「楽しい事」を紹介できるといいと思う。大変な仕事だがその分喜びが多いと思う
- 介護が決して数居の高い仕事ではないことを伝えた方が良いのではないかと思います。3Kと呼ばれていた頃と違い専門性の高まりによって志望者が増えないのではないかと思います。始めやすい、そして専門性を身に付けられるということを伝えた方が良いのではないのでしょうか
- 自分が思っているよりも周りには介護の仕事に就いている人がたくさんいますが、私の周りも私が知っているだけで前職が一般企業、栄養士、音楽大学を卒業したが介護の仕事をしている人、高校卒業で介護の世界に飛び込んだ人等々色々な職種から集まるのも介護業界の特徴の一つだと思っています、介護はこれから先も需要が高まる為、なくなる仕事です。未経験者もたくさんいますよ！
- 何か介護の職に携わりたいと思っている方がいたら、資格（必要最低限）を取り、チャレンジしてってもらいたい。人と関わる仕事が好きで対面する相手を尊重できる人なら向いている仕事だと思う
- 一度見学してみてください。介護の仕事のイメージがわかります
- 自分で1からステップアップができると思いました
- 介護施設は、もう少し介護だけで静かなイメージがあったが、明るく笑い声が聞こえ明るい所だった
- 実際に現場見学に来て下さった方々に、職員一人一人が働いていてやりがいを感じる時やこの職場で良かったと思えるようなインタビュー動画を作って見て頂くというのはどうですか
- 人の役に立てているという使命感がやりがい
- 介護現場等を写した写真展（web上可）
- SNSを利用してみる。若者たちの目にとまり易い
- 正直安易に未経験者でもできると宣伝するのは止めた方がいいと思います（体を悪くしかねません介護の質が落ちると思います）。
- 給与ベースアップと誰でもできるというイメージを払拭してほしい。宣伝するなら、介護は人対人なので日々新しい出会いがあり、同じ毎日が無いのが魅力だと思います。また、これからの時代高齢者が増えてくるのでしばらくは働き口

に困らないと思います。また、やりがいを感じられます（多分これがあるから皆さんギリギリで働けている人が多いのではないのでしょうか）

○介護は手足あれば誰でもできる

○子育てをしている立場としては、保育所有りはとっても魅力的でした

○将来の安定性など

○介護の仕事がどういったものなのかポジティブ、ネガティブの面で教えて欲しい/今は SNS が主流になってきているので、動画配信などもありかと

○特別なスキルや資質を必要とする訳ではない。やりながら学ぶ事で十二分にやっていけること

○かわさき市政だよりやタウンニュース（地域情報誌）等での介護の仕事紹介/介護職仕事紹介・就職相談会（座談会）の開催

○現場で体験しながら資格が取れるのは授業だけでは分からない事もあるので、良いと思います/自分の親の為にも出来る
と良い仕事であると知らせると良いですね！

○無資格、未経験であっても現場での教育環境があれば不安はないと思います。私自身は初任者研修へ通いながらの勤務
でしたので、理解しながら仕事をすることができました/HP に勤務されている方の体験談があり、不安はありませんで
した

○時給面が一番大きいと思います。今は派遣や土日・祝は時給 UP 等高時給の施設が多い中、特養という介護の中でも体力
的にも精神的にも負担が大きい仕事で、大変だけど「これだけ大変だからこそ！！」と思える時給（UP）が未経験者や
パートさんへアピール出来ると思います/今は「介護は大変」と世の中に浸透されていて、CM や多くのメディアが取り上
げてる中、介護者（やりたいと思う人）が少ないのは時給（給料）面だと感じています

○コロナで難しいが、駅前広場や商業施設のブースを使って施設紹介や作品展などを行う（就職フェアなどに関心がない
と集まらない）

○未経験などで介護職に就いた方達の体験談（良い事も悪い事も含めて）

< AIV の特徴・傾向 >

8 無資格・未経験者へのアピール方法

「不安軽減・自信につながるような情報、ポジティブな面、ネガティブ面を含めた率直な声の発信」

「やりがい・喜びを伝える」

「将来的になくならない仕事、働きながら成長できる、資格取得で何ができるかを伝える」

「事業者の考え方、特長、見学・体験、体験談の発信、公共施設での施設紹介、一般企業と同様な PR」